

## 北里大学病院・旧北里大学東病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	先端巨大症患者におけるインスリン抵抗性と分泌能に関する単施設後方視研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部内分泌代謝内科学 助教 田口 朋
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・ 目的	先端巨大症は成長ホルモン(GH)の過剰により、特有の顔貌および代謝異常、予後の悪化を来す疾患です。GHは生理的にはインスリンの拮抗ホルモンとして、インスリンの働きを悪くするため、先端巨大症では糖尿病を発症することが多いです。先端巨大症の診断には75g経口ブドウ糖負荷試験(OGTT)を行い、診断します。その試験の際に、GHとともに血糖値やインスリン値を測定します。そのため75gOGTTの結果から先端巨大症患者さんのインスリンの効果を評価することもできます。本研究では当院で先端巨大症患者さんに対して行った75gOGTT試験の結果から各患者さんのインスリンの効果を解析し、その患者背景とともに日本人における先端巨大症患に関する糖代謝異常の特徴を明らかにすることを目的とします。
調査データ該当期間	2006年1月1日から本研究における研究機関の長の許可日までに北里大学病院内分泌代謝内科を受診し、75g経口ブドウ糖負荷試験(OGTT)を施行した先端巨大症患者を対象
対象となる患者さん	上記期間内に先端巨大症の診断で当院にて75g経口ブドウ糖負荷試験を行った患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報:2006年1月1日から研究承認日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の他の研究機関への提供	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日: 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。本研究で収集した情報は二次利用の可能性があります。また二次利用のみ情報の利用を拒否することも可能です。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、内分泌代謝内科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会にて審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>相談窓口/照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:          所属・職位: 内分泌代謝内科学・助教          担当者: 田口 朋(タグチ トモミ)          電話: 042-778-8111(代表)</p>